

JALE Landscape Design School 2025

栃木県小山市の実践から学ぶ・考える・提案する

2025年9月25日(木)～27日(土)

場所：栃木県小山市

定員：10名 ※景観生態学会員を対象、応募多数の場合は選考

申込み期限：2025年7月25日(金)まで

参加費：学生5000円、社会人10000円

交通費・宿泊費・食事代等は別途個人負担となります。

会場・宿泊先等の詳細情報は申込みいただいた方に別途お知らせします。

景観生態学は、都市部の公園・緑地の計画にどう応用できるか？

小山市は、同市の30年後の理想的なあり方を市民の方々と3年3ヶ月をかけて検討、策定した長期ビジョン「田園環境都市おやまビジョン」を、2025年3月に公開しました。策定にあたっては、市内11地区の風土性調査を実施し、その成果に基づいて市民と市職員が共同でビジョンを検討するプロセスが踏まれ、ビジョンの基盤には生態系サービスが位置づけられています。今回のスクールでは、田園環境都市おやまビジョンの具現化の一環となる都市部の公園・緑地の計画に景観生態学はどう応用できるかを課題とし、小山市で3日間講義と踏査、文献調査を行い、作業課題を設定した後、数ヶ月間追加的に検討をした結果を参加者全員でレポートにまとめ、同市へ提供します。

参加申し込み



<https://forms.office.com/r/jCWd9CpyFe>

スケジュール(予定)

1日目 9/25(木)

8:00 ～開講のあいさつ、オリエンテーション

8:50 ～レクチャー「新長期ビジョンと生物多様性地域戦略(仮)」
：小山市・小久保智史氏

9:30 ～フィールドワーク1

：都市部に残る自然的環境宝木台地西縁斜面林と思川

12:00 ～昼食休憩

13:00 ～フィールドワーク2

：都市部の公園・緑地二筋の台地侵食谷を中心に

17:00 終了

2日目 9/26(金)

8:00 ～レクチャー「『生物多様性おやま戦略』改定の支援(仮)」
：景域計画・八色宏昌氏

レクチャー「都市のエコロジカル・ネットワーク計画(仮)」
：井本郁子アドバイザー

9:55 ～フィールドワーク：田園部視察

12:30 ～昼食休憩

13:30 ～レクチャー「近世の御用川における木材流送筏はどのように流れたのか」：宇都宮大学大学院・林陽輝氏

14:10 ～ワーク1(問題解決・課題対応のための検討、提出レポート作成の簡易作業計画作成)

18:00 ～懇親会

3日目 9/27(土)

8:00 ～ワーク2(問題解決・課題対応のための検討、提出レポート作成の簡易作業計画作成)

10:00 ～プレゼン(発表3分・質疑5分)と意見交換

12:10 ～総評

12:30 閉会

コーディネーター：廣瀬俊介(風土形成事務所)

企画：JALE ランドスーパプランニング&デザインワーキンググループ 伊東啓太郎(九州工業大学大学院) 廣瀬俊介(風土形成事務所) 須藤朋美(九州工業大学)、芳賀智宏(大阪大学)、長谷川逸人(中央大学)

協力：小山市、八色宏昌氏(景域計画株式会社代表取締役)

アドバイザー：日置佳之(鳥取大学名誉教授) 鎌田磨人(徳島大学大学院) 井本郁子(慶應義塾大学SFC研究所上席所員) 山本美穂(宇都宮大学)